

兵庫県知事醜聞

令和6年8月

青野正宏

兵庫の 知事さん	若くて イケメン	東大 卒業	エリート 官僚
仕事は 有能	評判 上々	県知事 就任	やること 颯爽
知事用 車の	グレード ダウンも	期待の 新知事	お手並み 拝見
ところが どっこい	本性 現る	パワハラ オネダリ	補助金 不正も
内部の 告発	保護する どころか	犯人 捜しに	強権 発動
内容 否定も	だんだん 糺して	告発 内容	事実が 明白
評判 最悪	辞任の 要求	取り巻き 辞めても	はねつけ 居座る
どうする どうなる	兵庫の 県知事		

就任前は想像できなかったが  
だれをかも 知るひとにせむ 県知事の パワハラ気質 部下なら泣くに

なげけとて 知事はパワハラ おもはする かこち顔たる 皆涙かな

おねだりも  
これも欲し 視察帰りに お土産を 知るも知らぬも 兵庫県知事

四面楚歌  
さみしさに 知事室いでて 眺むれば いづこも同じ 非難の嵐

知事はこう思って頑張っている。  
うかりける 人を世論の 知事おろし はげしかれとは 祈らぬものを  
圧力も 耐えねば耐えね 永らへば やめろの声も 弱りぞもする

県民はイライラ  
百条委 究明の道も 遠ければ まだ形も見ず 辞任勧告

維新は担いだからそう簡単におろせない  
世論では 知事の辞職を はかるとも よに大阪の 知事は許さじ

備考	
だれをかも 知る人にせむ 高砂の 松もむかしの 友ならなくに	藤原興風
嘆けとて 月はや物を 思はせる かこち顔なる わが涙かな	西行法師
これやこの 行くも帰るも 別れては 知るも知らぬも 逢坂の関	蝉丸法師
寂しさに 宿立ち出でて 眺むれば いづこも同じ 秋の夕暮れ	良暹法師
憂かりける 人を初瀬の やまおろし はげしかれとは 祈らぬものを	源俊頼朝臣
玉の緒よ 絶えねば絶えね ながらへば 忍ぶることの 弱りもぞする	式子内親王
大江山 いくのの 道の 遠ければ まだふみもみず 天橋立	小式部内侍
夜をこめて 鳥の空音は はかるとも よに逢坂の関はゆるさじ	清少納言